

緑化だより

No.107 平成27年7月号



ロマンス池

- 緑化センターの希少な樹木(15)
- 野鳥の世界(センダイムシクイ)
- 病虫害の話
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内

生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp



緑化センターの希少な樹木

No. 15 イソノキとキガンピ

イソノキは6～7月、直径約5mmの花が多数集まって咲きますがあまり目立ちません。そのわりにはスズメバチなど種々のハチが花蜜を求めて飛び回ります。葉は2枚ずつ交互につくコクサギ型葉序になりますが、単なる互生の形をとるところも少なくないです。葉はサクラによく似ていますが葉柄が5～10mmとサクラ(2～2.5cm)に比べると短いです。和名の由来ですが、不明とされている図鑑もあるのですが、イネを束ねるワラを「ユイソ(結いそ)」と呼び、しなやかな枝を結束に使ったことから、ユイソノキのユがいつのまにか略されイソノキになったという説もあります。集いの広場から少し上に上がったところにある中央展望台の横にあります。

キガンピは7～9月、本年枝の先に小さな黄白色の花を数個～10数個つけます。ガンピとよく似ていますが、ガンピの葉は互生であるのに対してキガンピは対生です。雁皮紙(がんびし)のことを古くは斐紙(ひし)といい、その原料植物を紙斐(かみひ)と呼び、これがなまってカニヒとなり、ガンピとなったと言われています。キガンピの樹皮もやはり和紙の原料とされます。樹木探勝園の道沿いにあります。(川上)



イソノキ



キガンピ

野鳥の世界

センダイムシクイ

種名の“センダイムシクイ”は、“チョ・チョ・ビー”と聞こえるさえずりから“千代(ちよ)ムシクビ”となり、千代(ちよ)をセンダイと読みかえるようになったとの説があります。別名“コズエムシクイ”、“ウグイスムシクイ”ともいわれます。

中国山地では限られた季節に飛来し、子育てをします。緑化センターで見られるのは、サクラの花が散り、キリの花が咲く頃です。茂った林の中で“チョ・チョ・ビー”とか“ショウチュウ・イッパイ・グー”と聞こえる鳴き声はなじみ易い聞きなしです。耳に残っても姿を見る機会は少なく、梢でさえずる時が唯一のチャンスです。ウグイスサイズの鳥ですが、声がよく通るので、場所の特定もしやすいのです。遅れて飛来した雌と番(つがい)を組み、営巣、子育てに入るのは5月末からですが、6月になる



センダイムシクイ

とさえずりをやめているようです。これはツツドリやホトギスからの托卵(たくらん)を避けるためと思われます。(吉見)

病虫害の話

梅雨が明け夏になると、春から伸び始めた新芽や枝も充実成長に入ります。毛虫が発生しているのに気づくのもこの頃です。

庭木の手入れをする前に虫食いの葉はないか、葉の裏に毛虫はついていないか探し、見つけ次第、退治してから剪定すると被害も少なくて済みます。特に気をつけたいのがイラガとチャドクガです。

イラガ

食害される植物はカキノキ、ウメ、カエデ類、ハナミズキ、ブルーベリーなど幅広く、若齢幼虫の時は、集団で葉の裏を食害しますが、終齢幼虫になると単独で行動します。刺すと同時に体内の毒腺から毒液を送り込み、5 mmくらいの幼虫でも、感電したような痛みが走ります。刺すのは幼虫だけで成虫の蛾は無毒です。通常、発生は6~9月頃の年1回ですが、2回発生するものもあります。

防除の方法は、幼虫は捕殺するか、殺虫剤を散布します。又、幹のつけ根などで越冬しているだ円形のまゆを見つけ次第つぶすと、次年の発生被害を少なくすることができます。

チャドクガ

ツバキ科のチャノキ、ツバキ、サザンカにつくためこの名があります。

ツバキなどの葉裏に産み付けられた卵塊は4~6月と、8月~9月頃の年2回ふ化し、2回目に発生した成虫が生んだ卵は越冬して、4月頃ふ化します。ふ化した幼虫は集団で葉を食べ、枝だけ残して丸坊主になることもあります。成虫の雌は2 cmくらいで、褐色の翅の先に2個ずつ黒い点があります。

チャドクガの毒は、幼虫ばかりか成虫、サナギや卵塊とすべてにあります。庭を掃除した時、地面に落ちた殻があると、風に舞ってつき、皮膚炎になるほどです。

防除の方法は、捕殺又は殺虫剤を散布します。作業するときは、ゴム手袋をして枝ごと切除、袋に入れ焼却する、風上で作業するなど気をつけてください。(山根)



ヘリヒロアオイイラガの幼虫



チャドクガの卵塊



チャドクガの幼虫

研修会のご案内

- | | |
|--|---|
| ○ 7月 4日(土) 『7月の自然探勝』
森林のしくみと環境を体験しよう | 10:00～12:00 第4駐車場 集合
講師：森林植物研究家
埤田 宏 |
| ○ 7月 11日(土) 『ボタニカルアート教室』
色鉛筆で身近な植物を描こう
※ 要予約、色鉛筆、消しゴム持参 | 10:00～12:00 学習室 集合
講師：広島ボタニカルアート
・ソサイエティ 会員 |
| ○ 7月 12日(日) 『夏のきのこ教室』
梅雨明け後の野生きのこを観察しよう
※ 採集用カゴ持参
(雨天の場合、18日に順延します) | 10:00～14:00 第3駐車場 集合
講師：きのこアドバイザー
川上 嘉章 |
| ○ 7月 19日(日) 『夏休み昆虫教室』
講師と一緒に昆虫採集します
※ 要予約(先着40名) 採集用具持参 無料
(定員に達したためキャンセル待ちです。) | 10:00～12:00 学習室 集合
講師：技術士(環境部門)
亀山 剛 |
| ○ 7月 26日(日) 『昆虫標本作り入門』
昆虫標本作りを学びましょう
※ 要予約(先着20組) 材料費1,000円 | 10:00～12:00 学習室 集合
講師：技術士(森林部門)
相良 伊知郎 |

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

お知らせ

研修会中止について

“夏休み竹細工教室” 8月23日(日)は
講師の都合により中止となりました

◎ 展示会

場所:レストハウス

(ガラスケース展示)

・モーモーアート手作り作品展

6月17日(水)～7月20日(月)

・くすだま人形作品展

7月23日(木)～8月30日(日)

(ボード展示)

・ボタニカルアート作品展

6月17日(水)～7月10日(金)

・日本画「遊」作品展

7月16日(木)～8月23日(日)

※7月は月曜日が休園日です
土・日・祝日は午後5時まで
で時間延長して開園します



モーモーアート手作り作品展より



ボタニカルアート作品展より